



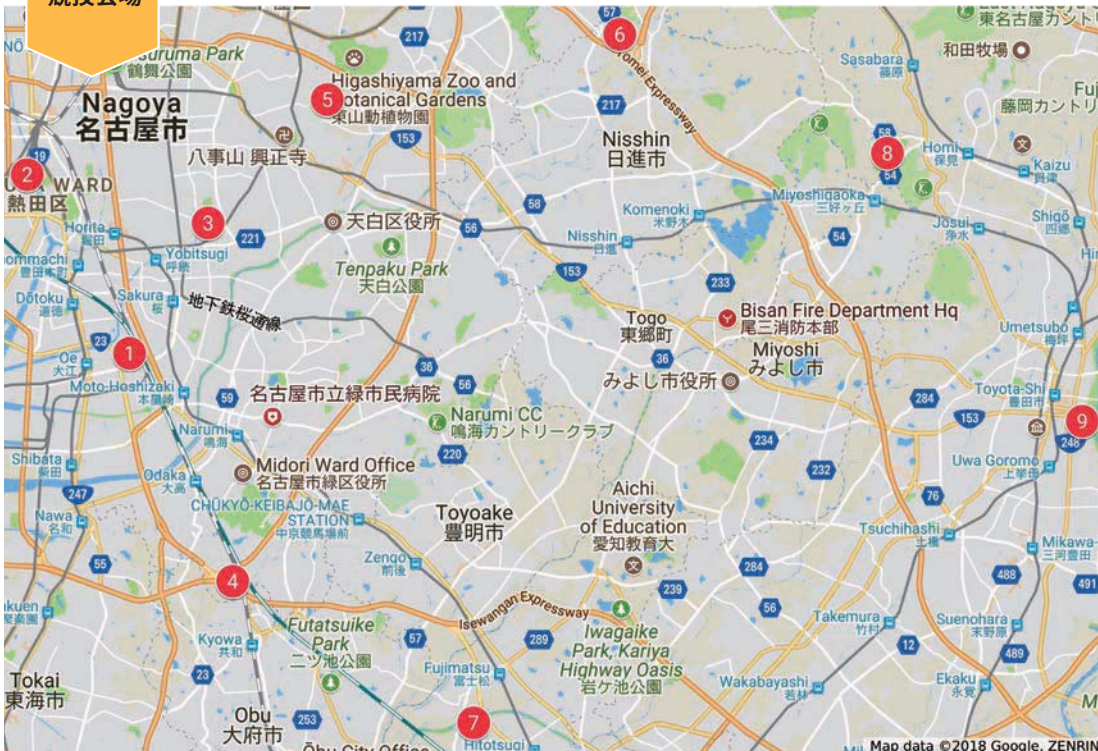
[夏季ナショナルゲーム・愛知] 開催迫る!

9/22 → 9/24

「2018年 第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」が、この9月22日(土)から3日間にわたって、愛知県内で開催されます。

今回は、全国から約1,000名のアスリートが参加して13競技が実施されますが、SON・東京からは、アスリート102名、団長・副団長・コーチ・追加スタッフ43名、総勢145名の選手団がボウリング・バスケットボール・競泳・陸上競技・体操競技・卓球・テニス・バドミントン・バレーボールの9競技に参加します。現地で、また東京から、アスリートたちに熱い声援を送ってください。

競技会場



- 1 開会式
日本ガイシホール
名古屋市南区東又兵衛町5-1-16
- 2 閉会式
名古屋国際会議場センチュリーホール
名古屋市熱田区熱田西町1-1
- 3 陸上競技
パロマ瑞穂スタジアム
名古屋市瑞穂区山下通5-1
- 4 ボウリング
名古屋グランドボウル
名古屋市緑区志治山201
- 5 テニス
名古屋市東山公園テニスセンター
名古屋市天白区天白町大字八事字裏山60-19
- 6 競泳
愛知学院大学 AGU スポーツセンター
日進市岩崎町阿良池12
- 7 バドミントン/バレーボール
刈谷市総合運動公園ウィングアリーナ刈谷
刈谷市築地町荒田1
- 8 卓球
トヨタスポーツセンター第1体育館
豊田市保見町井ノ向57-230
- 9 バスケットボール/体操競技
スカイホール豊田(豊田市総合体育館)
豊田市八幡町1-20

競技以外のイベント

- ユニファイドスポーツ体験 ●ヤングアスリート TM プログラム・デモンストレーション ●ヘルシー・アスリート®・プログラム(健康増進プログラム)

選手団長・近藤秀雄あいさつ

「超える喜び。」をスローガンにいよいよ「2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知」が開催されます。アスリートは先日開催された地区大会での予選を経ての参加となります。一人ひとりがこれまでプログラムで培ってきた力を糧に、それぞれが持っている潜在能力をいかに発揮していただきたいと思います。

通常の地区活動で感じられないナショナルゲームならではの雰囲気を感じ、日々の競技の中で、スローガンの「超える喜び。」と一緒に体感していきたいです。そして今回参加できなかったアスリートにナショナルゲームで経験した事を通常プログラムで伝えていただきたいと思います。ファミリー・ボランティア・コーチの皆様、ぜひ私たちの活躍を応援してください。



ワンハンドレッド倶楽部が「ミュージアムパーティ2018」で支援(4/27)



美術作品に囲まれ、バイオリンとギターの珍しい二重奏

ゴールデンウィーク直前の金曜日、スペシャルオリンピックス日本・東京を支援する有志の会「ワンハンドレッド倶楽部」の懇親会が、上野の森美術館にて開催されました。今回は、「夏季ナショナルゲーム・愛知」への派遣支援を兼ねていたため、大会へ出場するアスリートたちも来場。ワンハンドレッド倶楽部の皆様からの激励に、感謝の気持ちと大会に向けた意気込みで応えました。

メインイベントは、「ミニミニオールナイトニッポン!」と題した、伝説のパーソナリティ齋藤アンコー氏のトークショーと、バイオリン瀬川祥子さん、ギター松尾俊介さんによる「スペシャル・アンサンブル」。軽妙なトークに会場が沸き、バイオリンとギターの素晴らしい音色に来場の方々が聞き入りました。



アスリートの挨拶に耳を傾けるワンハンドレッド倶楽部の皆様

「ユニファイドバスケットボールフェスタ2018」開催(5/20)



中央の旗に注目! 本大会はプロバスケットボールの「Bリーグ」も応援してくれました

国立オリンピック記念青少年総合センターにて、ユニファイドバスケットボールをみんなで楽しむ「お祭り」が開催されました。

「ユニファイド」とは、知的障害のある人(アスリート)と知的障害のない人(パートナー)が、チームメイトとしてスポーツに取り

組むプログラムです。チームメイトとして活動することで「違い」や「個性」に気づき、仲間として尊重し、認めあい、互いを活かしながら活動を体験します。

これまでサッカーで2回、ユニファイドプログラムの全国大会が開かれてきましたが、アスリート数が多いバスケットボールの大会は行われていませんでした。そこで、まずユニファイドの形式を採用したゲームによる全国規模のイベントを開き、今後の発展につなげていこうと、SON・東京のバスケットボールプログラムのコーチが積極的に取り組み、今回のイベントを実現させました。今回の経験を礎に、いずれ本格的なユニファイドバスケットボールの全国大会が開催されることを祈っています。



本大会の特別ルールで、男女混合チームも参戦



- **大会規模** 12チーム(アスリート約70名、パートナー約50名 コーチ約30名 計約150名)
- **大会ボランティア**(コーチ含む) 約70名
- **参加地区** 9地区(徳島/愛知/富山+石川/長野/栃木/神奈川/千葉/東京)

ユニファイドバスケットボールフェスタ2018/順位表

ディビジョン1	優勝	東京チャレンジャーズ1
	2位	千葉ピエロYOU
	3位	愛知ドルフィンズ
	3位	神奈川サンズA
ディビジョン2	優勝	徳島モンキーズ
	2位	栃木サンダース
	3位	長野オールスターズ
	4位	神奈川サンズB
ディビジョン3	優勝	富山イエローファイターズ
	2位	東京チャレンジャーズ2
	3位	千葉ピエロ(アイ)
	4位	東京チャレンジャーズ3

プロバスケの会場で 就労体験(5/5)

プロバスケットチーム「アルバルク東京」のホームゲームで、SON・東京アスリートの中島幸紀さんが就労体験をしました。最初は緊張している様子でしたが、社員やアルバイトスタッフのサポートで、ファンクラブ会員のポイント特典ブースの手伝いや、試合終了後のゴミ拾いなど、会場スタッフとしての役割を無事こなすことができました。

本格的な就職前にこうした体験ができるのは、将来を考えるのにはとてもいい機会。SON・東京では今後も、支援企業とともにアスリートの自立と社会参加に向けた取り組みを続けていきます。



「親切なご指導のおかげで楽しかったです」と、中島幸紀さん

「Citi Global Community Day」で ボウリングを楽しみました(6/8)

東京ポートボウルで開催された外資系金融シティグループによる「Global Community Day」に、今年もたくさんのアスリートが参加しました。

これは、世界中で活躍するシティグループの社員の方々が、ボランティア活動を通じて地域社会に貢献するというグローバルな取り組み。シティグループはSON・東京のオフィシャルスポンサーとして、資金的なサポートと多くの社員がボランティアとして参加していますが、今回のイベントでは、SON・東京のアスリートと一緒にボウリングを楽しむことで、より多くの社員に知的障害のある人々への理解を深めてほしい、という思いが込められたものでした。



citiの皆様の中にはご家族で参加された方もいました

WWEの選手が フロアホッケープログラムに参加(6/29)

世界的なプロレス団体「WWE」の日本公演で来日したイタミビデオ選手とラナ選手が、公演の合間をぬって、フロアホッケープログラムに参加。みんなでミニゲームを楽しみました。

この交流会は、アメリカ本国のスペシャルオリンピックとWWEが長くパートナー関係にあることから実現したもので、合わせてSON・東京アスリートへは、日本公演の観覧招待をいただきました。ご招待は、2015年の日本公演に続いたことで、今後も継続的な交流をしていただけることを期待しています。



中央女性がラナ選手、右男性がイタミビデオ選手

WORKING
ATHLETES

働くアスリートたち 第33回 齋藤克紀さん(30歳)

今回は、JR武蔵小金井駅から車で5分ほど、齋藤克紀さんが働く「HYSエンジニアリングサービス」を訪ねました。同社は、映像・無線関連機器メーカーの日立国際電気のグループ会社として、製品の保守サービスや設備管理などを行っています。

▶ 業務は廃棄書類の回収と処分です

齋藤さんは就職して11年。入社以来、湿式シュレッダー業務についています。社内に設置された専用の回収ボックスから不要となり処分する書類を回収、シュレッダーにかけて、紙粘土のようになった廃棄物を搬出するまでが仕事です。シュレッダーに投入する基本サイズはA4紙。ホッチキスや付箋などを取り除き、一度にたくさんの紙を送らないように、またA4サイズより大きな紙はそのまま入れないように注意しながら、作業をしています。



シュレッダーが停止しないように数枚ずつ投入します

「紙をシュレッダーに入れるとき、一度にたくさん入れないように気をつけます。山折りになっている紙を早く開くのが難しい。今は仕事に自信があります」

上司のビジネスサポート本部施設サービス部サービスグループ部長代理の長谷(ながたに)勝さんが2008年に現職に就いたとき、齋藤さんは仕事に慣れてきたころでした。

「仕事は早いです。きれいに仕分けして、機械をストップさせず、上手に入れています」

仕事仲間は、中野特別支援学校の先輩・後輩にあたる4人。「仲良しです」と齋藤さん。全員が働き続けているのは、社内を回収に回るときの緊張感と、1つの部屋で一緒に働く安心感のバランスのうえに、周囲のサポートがあるからでしょう。

▶ 「仕事を続けたい」、「空手を強くなりしたい」

廃棄書類の回収は週4回。回収ボックスは、職場の人たちが行き来する場所にあります。齋藤さんは、「作業するときは、行き来のじゃまにならないよう、なるべく端に立って行う」と、心がけているそうです。

回収ボックスには4人の顔写真が貼ってあり、同一構内に勤務するおおよそ2,000人が4人の顔を知っているので、見知らぬ人が回収できないようになっていました。作業は、中に入っている大きな布袋を取り出し、袋の口をしっかり縛り紐をかけ、台車に乗せて運びます。手馴れた作業でセキュリティは万全です。

「今の仕事がいいです。ずっと働き続けたい」と即答した齋藤さん。「健康で、長く続けてもら

いたいです。これからもサポートしていければと思っています」と長谷さん。湿式シュレッダーの指導員、清水敏夫さんは、「書類の量が多いと、回収袋は相当に重くなるのですが、そんな力仕事も率先してやってくれます。さらに自発的な配慮ができるようになれば」と期待しています。

齋藤さんは小さいころから極真空手を習ってきました。ボウリングのほか、水泳にも。平泳ぎが得意だそうです。

「空手の先生の蹴りが腹に当たっても、最近はずくまらなくなりました。もっと強くなりたいです」

仕事に、空手に、スペシャルオリンピックの活動に頑張ってください。

(ボウリングプログラム・荻窪会場に参加)



指導員の清水さん、齋藤さん、上司の長谷さん(左から)

アスリート: 元木久さん 母: 元木和泉さん

「アジアの壁」のごとく文武両道を歩むよう希望を込め名づけた久は車輜や電車の名前を驚くばかりの記憶力で覚えていく子どもでした。当時の私たち両親にはなんの予備知識もなく、もしや神童との過大な期待を抱いたものです。その割に日常的な語彙がふえず、発達についての違和感はずっとつきまわっていました。冬季オリンピックのショートトラックスピードスケートに感化され、スコップを両脚に履き見事なコーナリングを披露したり、合奏では担当するウッドブロックの代わりに自分の頭を叩いて聴衆の笑いをとったり保育園では「遊びの天才」の異名をとっていましたので、発達障害による不適応も保育士の先生はじめ周りの方々が温かく受け容れてくださったことで久にはおだやかな日々でした。

会話が成立しないことなどから「お宅ではどんな育て方してるんですか」とお約束の投げかけももちろんありましたが、発達障害の診断は4歳半ばをすぎた頃でした。なんとか通常級での教育を、と小学校入学当初は親子とも悪戦苦闘の日々でした。わが子の障害の受容には必要な期間でしたが、今では少々もったいない時間を過ごしたかなとも思います。

小学校3年生から特殊学級に在籍し、遅まきながら久をとりまく発達環境も徐々に整っていききました。陽気で前向きな子だったので「障害

ホップステップジャンプ Vol.19

SOのコーチには生活面でも背中を押していただき、行動範囲が広がりました



元木久さん ● 1995年生まれ。2005年SON・東京入会参加プログラム / 卓球 (写真左は安藤美江コーチ)

があるからダメだな」ではなく「障害があってもちゃんとできるんだ」と周りから思ってもらえるよう母親は厳しく父親は緩衝材の役割を担い日々接してきました。通学サポートをお願いした長谷美さんには今もたくさん応援していただいています。

4年生からSOにお世話になり、複数のプログラムに参加させていただきました。中学校の卓球部に入部したことで、SOも卓球に絞って参

加するようになりました。部活動が忙しく一時足が遠のきましたが、卒業後SOに再びお世話になることがふえました。とりわけ多摩会場の中西義治コーチと府中会場の安藤美江コーチのお二人にご指導いただく機会を得ましたことは、久が本格的に卓球を志す契機となりました。ご体調が万全でない中にも熱心にご指導くださいました中西コーチのように往年の名プレイヤーであり、指導者としても名高い方のご指導を直接いただけたというもSOに参加してこそその経験と今も感謝の念に堪えません。

安藤コーチには技術的なご指導にとどまらず、障害があっても健常者と同じく矜持をもち、社会的認知を求めてよいのだと生活面においても背中を押していただきました。おかげさまで本人の行動範囲も広がり、現在では卓球十条会場にも参加、9月の夏季ナショナルゲームに向け練習に余念のない日々を過ごしております。大学受験を控えた弟もベンチコーチを優先するほど久の卓球を応援しています。

各会場でコーチをはじめアスリートやファミリーの皆さまにお世話になり、たいへん有難く思っております。共働き両親がファミリーとしてなかなかお手伝いできず心苦しいばかりですが、久がプログラムに参加させていただくことでSOの発展に少しでもお役に立つことができればと願っております。(文・元木和泉さん)

今 後 の 予 定	◎ 8/31(金)	インターバンク・ボウリング・ゲームス
	◎ 9/1(土)	SO日本ナショナルゲーム・愛知事前説明会
	◎ 9/10(月)	チャリティーゴルフ
	◎ 9/22~24(土~月・祝)	SO日本ナショナルゲーム・愛知
	◎ 10/6,7(土・日)	みなと区民まつり
	◎ 10/7(日)	雑居まつり
	◎ 10/8(月・祝)	第16回ウォーク&ランフェスティバル
	◎ 10/21(日)	スキルアップ研修会(陸上競技)
	◎ 11/3(土)	スポーツ de 障害者交流会
	◎ 11/17(土)	学校連携プログラム at 杉並区立中瀬中学校
	◎ 11/20(火)	チャリティーコンサート
	◎ 12/14(金)	新生銀行クリスマスパーティ

計報 ● ボランティア 藤洋子さん(享年79歳)

法人・団体・個人会員募集中

SON・東京の活動は、法人・団体および個人の皆様からの会費と寄付金によってまかなわれています。

正会員 入会金：5,000円 年会費：5,000円

賛助会員 (一口)年：3,000円～

郵便振込口座：00140-1-723232

クレジットカード：<https://syncable.biz/associate/sontokyo/membership>

※便利な口座振替をご用意しています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

事務局からのお知らせ 8月13日(月)～17日(金)まで、事務局は夏季休暇をいただきます。

SON・東京 オフィシャルスポンサー

SSKR NEWS LETTER とらいあんぐる vol.75
発行所: 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3丁目1番17号
ヴェルドゥーラ祖師谷102号室
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
編集元: 認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京
編集人: 岡松武司
編集スタッフ: SON・東京広報委員会 / 石橋泰介(デザイン)
定 価: 100円(代金は会費に含まれています)



認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-75号室
TEL: 03-6380-3135 FAX: 03-6380-3136
E-mail: office@son-tokyo.or.jp
web: <http://www.son-tokyo.or.jp>
www.facebook.com/specialolympicsnipponotokyo

Update ↗
登録アスリート数: 1,745名
正会員数: 1,011名
(2018年6月30日現在)